

亀山郁夫 前 東京外国語大学学長 講演会

世界文学としての ドストエフスキー

日時：2018年6月7日(木) 5限(16:00~17:30)

会場：東京外国語大学 研究講義棟1階
マルチメディアホール(101教室)

本学の前学長 亀山郁夫氏をお迎えし、
ドストエフスキーの小説の魅力、
世界文学における位置づけなどについてお話しいたします。
世界教養プログラム「世界の文化A」(「世界文学に触れる」
履修コード 180070)の授業内講演ですが、一般公開(無料)とします。
事前予約の必要はありません。

Profile

亀山 郁夫 (かめやま いくお)

1949年生れ。ロシア文学者。名古屋外国語大学学長。

2007年から2013年まで東京外国語大学学長を務める。2007年ドストエフスキー『カラマーゾフの兄弟』の新訳でドストエフスキー・ブームを巻き起こした。2013年『謎解き『悪霊』』(新潮社)で読売文学賞(研究・翻訳部門)受賞。

主な著書に、『甦るフレーブニコフ』(晶文社/平凡社)、『ロシア・アヴァンギャルド』(岩波新書)、『ドストエフスキー 父殺しの文学』(日本放送出版会)、『ドストエフスキー 共苦する力』(東京外国語大学出版会)など。主な訳書に、プラトノフ『土台穴』、ソローキン『愛』、ドストエフスキー『罪と罰』『白痴』『悪霊』『カラマーゾフの兄弟』など。



お問合せ：沼野恭子研究室 nukyoko@tufs.ac.jp

共催：総合文化研究所



東京外国語大学
Tokyo University of Foreign Studies